



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社博展

上場取引所 東

コード番号 2173 URL <https://www.hakuten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 田中 雅樹

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,352	11.5	30		27		25	
2019年3月期第1四半期	2,658	17.5	63		61		80	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 25百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 80百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	3.16	
2019年3月期第1四半期	10.40	10.10

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。また、2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	3,779	947	24.8	118.58
2019年3月期	4,067	1,009	24.7	126.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 938百万円 2019年3月期 1,003百万円

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		10.00	20.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、2019年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、2020年3月期(予想)の中間配当及び期末配当については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,100	1.6	90	66.3	80	69.6	60	72.6	7.68
通期	13,500	4.9	600	14.6	580	13.0	400	418.6	51.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	7,914,200 株	2019年3月期	7,908,600 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	82 株	2019年3月期	82 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	7,909,405 株	2019年3月期1Q	7,710,356 株

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	2,658	2,352	△305	△11.5
売上総利益 (%)	705 (26.5)	672 (28.6)	△33	△4.7
営業利益又は営業損失(△) (%)	63 (2.4)	△30 (△1.3)	△93	—
経常利益又は経常損失(△) (%)	61 (2.3)	△27 (△1.2)	△89	—
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属 する四半期純損失(△) (%)	80 (3.0)	△25 (△1.1)	△105	—

(注) 売上総利益、営業利益又は営業損失、経常利益又は経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失の下段に記載している数値は、それぞれ売上高に対する割合を示しております。

当社グループの主要領域である広告・イベント業界においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」(2019年7月17日発表)によると、広告業のうちSP・PR・催事企画における売上高は、2018年6月から2019年5月の累計実績が前年同期間比94.7%と減少傾向にあります。このような環境の中、当社グループは、中期ビジョン「ココロ揺さぶる瞬間(とき)を創り、世の中を次へ動かす」の実現に向けて取り組んでおります。

当事業年度におきましては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を1年後に控え、イベントプロモーション領域の需要増加が見込まれる中、当社は体験価値を創造するクリエイティブ力や企画・デザイン・製作・運営といった全サービスをワンストップで提供できる等の強みを活かし、マーケットやクライアントの要望に柔軟に対応することで、更なる事業拡大を目指しております。顧客接点の強化と取引深耕により顧客1社あたりの取引金額の向上に取り組むと共に、業務オペレーションの効率化や原価コントロールを通じて収益性を高めてまいります。また、将来の事業成長に向けた経営基盤の構築を推進すべく、人的リソース・プロモーション活動・IT活用・研究開発等、以下の重点分野にフォーカスした投資を行っております。

- ① Experience Marketing市場をリードするコアコンピタンスの確立
- ② 業務プロセス改善と戦略的IT活用によるオペレーション改革の推進
- ③ Experience Marketingを実現する高度な人材の獲得・育成

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、23億52百万円(前年同四半期比11.5%減)となりました。複数の大型案件が重なった前年同四半期と比較して減収となったものの業績予想に対しては概ね計画どおりに進捗しております。

各商材カテゴリー別の売上高の状況は、次のとおりです。

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
展 示 会 出 展	838	833	△5	△0.6
イ ベ ン ト プ ロ モ ー シ ョ ン	690	440	△250	△36.2
商 談 会 ・ プ ラ イ ベ ー ト シ ョ ー	562	603	41	7.4
カ ン フ ェ レ ン ス ・ セ ミ ナ ー	74	75	1	1.8
商 環 境	292	185	△106	△36.4
デ ジ タ ル ・ コ ン テ ン ツ & マ ー ケ テ ィ ン グ	176	185	9	5.2
そ の 他	23	27	3	16.8
売 上 高 合 計	2,658	2,352	△305	△11.5

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い当期より展示会場の一部使用制限が開始されたことにより、展示会出展においては案件数が減少しましたが、案件単価の向上に努め、前年同四半期と同水準の売上高となりました。イベントプロモーション・商環境においては、大型プロジェクトの増加傾向に伴い、収益計上が下期に集中することから、第1四半期の売上高は減少しました。

売上総利益は、6億72百万円(前年同四半期比4.7%減)、売上総利益率が28.6%(前年同四半期は26.5%)となりました。売上高の減少に伴い売上総利益は前年同四半期比で減少となりましたが、収益性向上に取り組んだ結果、商談会・プライベートショー、カンファレンス・セミナー、商環境において収益性は改善し、売上総利益率が2.1ポイント上昇しました。

販売費及び一般管理費は、7億2百万円(前年同四半期比9.4%増)、販売費及び一般管理費率が29.8%(前年同四半期は24.2%)となりました。徹底したコスト管理を継続する一方、将来の事業成長に向けて人的リソース・プロモーション活動・IT活用・研究開発等への投資を実施いたしました。

この結果、営業損失は30百万円(前年同四半期は営業利益63百万円)、経常損失は27百万円(前年同四半期は経常利益61百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は25百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益80百万円)となりましたが、通期業績予想に対しては概ね計画どおりに進捗しております。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりです。

a. リアルエクスペリエンス&コミュニケーション事業※1

当第1四半期連結累計期間におけるリアルエクスペリエンス&コミュニケーション事業の売上高は、21億89百万円(前年同四半期比12.5%減)、セグメント損失は12百万円(前年同四半期はセグメント利益93百万円)となりました。

これは、前述のとおり、売上高は、イベントプロモーション、商環境の大型プロジェクトの増加傾向に伴った収益計上の下期への集中化により売上高が減少したこと、セグメント利益においては、将来の事業成長に向けて人的リソース・プロモーション活動・IT活用・研究開発等への投資を実施したことによります。

b. デジタルエクスペリエンス&コミュニケーション事業※2

当第1四半期連結累計期間におけるデジタルエクスペリエンス&コミュニケーション事業の売上高は、1億63百万円(前年同四半期比5.1%増)、セグメント損失は16百万円(前年同四半期はセグメント損失20百万円)となりました。

これは、グループ会社の株式会社アイアクトにてサービス提供を行っているAI関連事業の引き合いが増加する等、グループ各社の営業活動が堅調に推移したこと、セグメント利益においては、効率性を重視したコスト・マネジメントの徹底が図られたことで、前年同四半期比でセグメント損失が減少しました。

- ※1. 展示会・イベント等、人と人が直接出会う“場”・“空間”において、様々な体験価値を通じて提供される製品・サービスの宣伝・販売活動を「Experience マーケティング」と位置付け、“コミュニケーション”に関わるあらゆる「表現」「手段」「環境」を最適化し“デザイン”することで、サービスを展開しております。
- ※2. インターネットを活用したビジネスモデルの策定から戦略的なWebサイト構築やアプリケーション制作をはじめとし、ビジネス向けアプリ制作・配信・管理プラットフォームやAI・コグニティブ領域など、最先端のデジタル・テクノロジーを集積し“デザイン”することでサービスを提供しています。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、資産合計37億79百万円(前連結会計年度末比7.1%減)、負債合計28億32百万円(前連結会計年度末比7.4%減)、純資産合計9億47百万円(前連結会計年度末比6.2%減)となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は29億42百万円(前連結会計年度末比2億85百万円減少)となりました。これは、現金及び預金が前連結会計年度末比2億75百万円増加したこと、また、仕掛品が前連結会計年度末比1億97百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比8億16百万円減少したことが主な要因となっております。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は8億36百万円(前連結会計年度末比3百万円減少)となりました。これは、リース資産が前連結会計年度末比6百万円減少したことが主な要因となっております。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は25億45百万円(前連結会計年度末比1億15百万円減少)となりました。これは、買掛金が前連結会計年度末比3億63百万円減少したこと及び賞与引当金が前連結会計年度末比2億11百万円減少したこと、また、未払法人税等が前連結会計年度末比1億31百万円減少したものの、短期借入金が6億64百万円増加したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2億86百万円(前連結会計年度末比1億10百万円減少)となりました。これは、長期借入金が前連結会計年度末比1億4百万円減少したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は9億47百万円(前連結会計年度末比62百万円減少)となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと、配当を行ったこと等により、利益剰余金が前連結会計年度末比64百万円減少したことが主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績経過は、概ね計画通りに推移しているため、第2四半期連結累計期間並びに通期の業績予想につきましては、2019年5月14日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,971	903,082
受取手形及び売掛金	2,278,875	1,462,649
仕掛品	208,928	405,934
原材料及び貯蔵品	1,138	3,661
その他	115,937	171,051
貸倒引当金	△4,359	△3,461
流動資産合計	3,228,492	2,942,918
固定資産		
有形固定資産	234,019	232,297
無形固定資産		
リース資産	56,288	49,290
その他	223,901	227,585
無形固定資産合計	280,190	276,875
投資その他の資産		
投資有価証券	11,746	10,767
繰延税金資産	129,977	133,481
その他	242,657	238,981
貸倒引当金	△59,111	△56,044
投資その他の資産合計	325,270	327,186
固定資産合計	839,480	836,359
資産合計	4,067,972	3,779,277
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,028,408	664,480
短期借入金	135,334	800,000
1年内返済予定の長期借入金	581,871	476,727
未払法人税等	136,870	5,094
賞与引当金	307,542	96,244
その他	470,885	503,128
流動負債合計	2,660,912	2,545,676
固定負債		
長期借入金	377,261	272,364
その他	19,851	14,204
固定負債合計	397,112	286,568
負債合計	3,058,025	2,832,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	174,950	174,964
資本剰余金	289,751	289,765
利益剰余金	533,578	469,029
自己株式	△63	△63
株主資本合計	998,216	933,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,382	4,756
その他の包括利益累計額合計	5,382	4,756
新株予約権	6,348	8,579
純資産合計	1,009,947	947,032
負債純資産合計	4,067,972	3,779,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,658,569	2,352,601
売上原価	1,953,265	1,680,426
売上総利益	705,304	672,174
販売費及び一般管理費	642,159	702,237
営業利益又は営業損失(△)	63,144	△30,062
営業外収益		
受取利息	—	99
受取配当金	80	88
貸倒引当金戻入額	1,448	3,964
雑収入	640	642
営業外収益合計	2,169	4,794
営業外費用		
支払利息	3,158	2,251
雑損失	350	289
営業外費用合計	3,509	2,540
経常利益又は経常損失(△)	61,804	△27,809
特別利益		
固定資産売却益	39	—
持分変動利益	47,539	—
投資有価証券売却益	—	77
特別利益合計	47,579	77
特別損失		
固定資産除却損	36	—
特別損失合計	36	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	109,347	△27,731
法人税、住民税及び事業税	560	501
法人税等調整額	28,632	△3,226
法人税等合計	29,193	△2,725
四半期純利益又は四半期純損失(△)	80,154	△25,006
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	80,154	△25,006

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	80,154	△25,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	△626
その他の包括利益合計	170	△626
四半期包括利益	80,324	△25,632
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,324	△25,632

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	リアルエクス ペリエンス&コ ミュニケー ション	デジタルエクス ペリエンス&コ ミュニケー ション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,502,965	155,603	2,658,569	—	2,658,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	104	17,297	17,401	△17,401	—
計	2,503,069	172,901	2,675,970	△17,401	2,658,569
セグメント利益又は セグメント損失(△)	93,694	△20,151	73,543	△10,399	63,144

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△10,399千円は、のれんの償却額△13,586千円、セグメント間取引3,187千円であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	リアルエクス ペリエンス&コ ミュニケー ション	デジタルエクス ペリエンス&コ ミュニケー ション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,189,111	163,489	2,352,601	—	2,352,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	215	25,429	25,644	△25,644	—
計	2,189,326	188,919	2,378,245	△25,644	2,352,601
セグメント損失(△)	△12,673	△16,663	△29,336	△725	△30,062

(注) 1. セグメント損失の調整額△725千円は、セグメント間取引であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

② 受注状況

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

前第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	2,638,769	95.8	3,063,337	104.6
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	143,737	62.4	370,741	96.9
合計	2,782,506	93.3	3,434,079	103.7

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	3,628,097	137.5	3,966,078	129.5
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	204,957	142.6	338,664	91.3
合計	3,833,054	137.8	4,304,742	125.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

前第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	2,502,965	118.4
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	155,603	104.0
合計(千円)	2,658,569	117.5

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	2,189,111	87.5
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	163,489	105.1
合計(千円)	2,352,601	88.5

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。